

## 第 17 回茅ヶ崎中海岸侵食対策協議会 主な意見

日時：令和 3 年 3 月 26 日(金)

(資料の送付日)

第 17 回協議会（書面開催）の主な意見は次のとおりです。

### ○養浜事業について

1. 来年度から茅ヶ崎漁港西側堆砂に加え、養浜盛土を活用した計画養浜を実施することについて（養浜量については、概ね 30,000 m<sup>3</sup>を予定）

<主な意見>

- ・賛成ですが、またヘッドランドの砂も活用して頂きたい。砂防柵の海側、陸側も砂の山になっている。南風が吹くたびにボランティアの方達が砂の除去運搬を行っているが、人の力では限界がある。
- ・漁業協同組合の同意が必要。

2. 現在の砂浜（幅）について

<主な意見>

- ・ちょうどよいとは感じているが、海が荒れるたびに地形は変わるので、台風被害による一番危険な部分のてこ入れの方が大切に思われる。
- ・今の計画の浜幅がちょうどよい。
- ・場所によって異なる。広くなった場所もあるが中海岸や菱沼海岸は狭い砂浜の幅だけでなくサイクルロードから汀線までの海浜地の高低差をなだらかにしていただきたい。
- ・地引網漁業者からは大分砂がついて助かったと報告を受けている。
- ・浜幅より歩道の狭さが気になります。
- ・サザンビーチがもう少し広くなることを希望。
- ・昔ぐらいの浜に戻ってほしいが、現状維持が精一杯だと思う。

### 3. 砂浜利用について（現在の養浜盛土は解消します）

#### <主な意見>

- ・もっと大きな目で海そのものを違う方向から見る必要が有ります。
- ・時折養浜盛土から金属物やアスファルト破片など、自然物ではない危険な物が出てきています、その様な物が出ない様をお願いします。
- ・今後、台風、その他の波浪で侵食された場合、その都度海岸の様子を見て盛土を行ってほしい。
- ・養浜盛土がなくなって、波を気にせず浜で散歩が出来るようになると思う。

### ○協議会について

#### 4. 協議内容について

#### <主な意見>

- ・現在の範囲（中海岸のみ）でよいが、危険地帯の調査も必要。災害に強い浜づくりを。
- ・平島～えぼし岩迄、遊歩陸橋を作る。
- ・侵食対策以外のことも協議したい。（砂防林のあり方や、国道134号海側歩道について。）
- ・養浜に使われるサンドバッグが破れて海上を漂うので船の航行の妨げになっているので、何とかしてほしい。
- ・平成31年3月の協議会において「菱沼の侵食対策を手厚く実施して欲しい」「茅ヶ崎全体の対策を検討する協議会として名称を変更していただきたい」とあったように、中海岸以外の自治会等から意見が出ております。ご検討をお願いします。
- ・中海岸より菱沼海岸の方を中心にして頂きたい。あまりにも菱沼海岸の侵食が進んでしまったので。

#### 5. 規模（委員数）について

#### <主な意見>

- ・多くなれば要望だけは増すが対応には限界があるため。

- ・人数拡大より、NPO 法人で茅ヶ崎海岸の美化、保全等携わっている団体の参加。
- ・少し小さくしてもよいのかもしれないが、周辺の多くの方の意見は必要だと思う。開催時期はもう少し延ばさないと意見は1回しかできない。

## 6. 開催頻度について

<主な意見>

- ・年1回では少ない。もっと自由に皆の意見を聞ける様にすべき。
- ・年度末だけの開催だけだと、結局報告だけになり、継続的なことしか議題としてあげられない。

### ○自由意見

- ・国や神奈川県、茅ヶ崎市もコロナに費用が嵩むため、コロナが落ち着くまでコロナ優先の対応でもよいのではないかと考えます。
- ・平島～えぼし岩迄橋を作る事で、台風時、沖合から来るウネリを初期段階でおさえる事ができる。養浜した砂も動かなくなり、遠浅のビーチに戻ると思う。また、中海岸、菱沼にもミニヘッドランドを作る。えぼしと平島の橋の足（10m 間隔）で、消波効果が有り、巨大な波の力は弱まるので、そのヘッドランドに依って、侵食は防げると思う。
- ・昨年と今年はコロナの影響で会議形式での開催が見送られましたが、本年途中においって、コロナが多少落ち着きましたら、会議形式で意見交換などの場として開催をお願いします。もっと理解する為にお願いします。
- ・サイクリング道路のメンテと、幅を少し広げて欲しい。自転車を置くスペースを何か所か作ってほしい。
- ・養浜に使っている砂が細かすぎる。茅ヶ崎漁港内のいけすに砂が入る。

- ・ダムから持ってくる砂も 2mm~1.5cm 位の大きさの小砂利の方が飛砂しないし、流砂する量も少ないと思う。
- ・海岸清掃をする立場からの意見として、辻堂から茅ヶ崎地区全般において、サイクルロードから汀線までの海浜地の高低差をなだらかにしていただきたい。現在、損壊しているサイクルロードから海浜地へ降りるコンクリートのスロープや水路に架けてあるコンクリートの橋を修繕、再整備していただきたい。2019年の台風19号以降、茅ヶ崎エリアの海岸進入路等の損壊が激しく、一部地域で清掃用のビーチクリーナーを使用することができなくなっている。
- ・小和田（菱沼海岸の東側）の漁師が「浜幅が少なくなって漁業に支障が出ている」と報告を受けている。養浜材を入れる袋が海へ流出することにより、漁船のスクリューへ巻きつく被害が発生しており、2次被害の発生しない養浜材や、流出しない方法での対応をいただくよう漁業者から要望を受けている。
- ・台風の襲来で一挙に地形が変化する自然の猛威の前に、人の力の弱さを感じる。どこをもって事業の成果というか悩ましい。
- ・現状を考えると、菱沼海岸、柳島海岸の侵食が進み、毎年のように台風の影響でサイクリングロードが通行止めになるのでは。もうすこし厚めな復旧を行っていただきたい。